

インタビュー

福岡の持続的発展につながる活動をしている方々にインタビューしてきました。

九州大学都市研究センター 3月14日、馬奈木教授にインタビューしました。

「新国富指標」を研究されています。国の豊かさを測る指標として、GDPが使われていますが、お金の価値だけでは本当のその国の豊かさを表すことはできません。持続可能性を考慮した国の豊かさの指標作りです。具体的には、経済・資源・生態系・健康などを含めた指標のことで、これらの価値を統合する際、金銭的単位に換算されています。この指標を基に温暖化を防ぐ政策につなげたり、貧富の差を縮めたり、福祉を充実させたり、公平な教育を提供したりとさまざまな分野への政策判断の指標にすることができます。熊本県水俣市は、いち早く、この指標を政策判断に役立てるため、都市研究センターと連携協定を締結しました。行政の政策は費用対効果が必ずしも明らかではないので、福岡市もこの指標を取り入れることが必要と感じました。

グリーンシティ福岡 4月7日、志賀さんにお話を伺いました。キーワードは「人と自然をつなぐ対話と体験の場づくり」。今ある緑を大



切に美しく伝えていく活動をしています。木の切れ端で黒板をつくったり、小枝で鉛筆を作ったり、楽しいワークショップを開催しています。「しかボラ」は、志



賀島の森林保全、観光地のルート整備として人が歩け、車も通れるように樹木の伐採をしたり、タケノコ堀りなどを行って魅力を伝えています。また、松原保全活動を行っている団体と協力し、玄海灘松原マップを作成しました。福岡沿岸の松原の場所と活動している団体が一目でわかる優れものです。そして、事務所に入って目を引く九州の大きな地図。九州7県をぐるっとつなぐ「九州自然歩道」です。九州を歩いて一周できる全長3,000kmの自然歩道です。なんと太宰府天満宮の参道もコースの一部になっているそうです。だから、九州自然歩道を歩いたことがある人はかなり多いと思います。これを機会に3,000km踏破に挑戦してみませんか？

アジア女性センター (AWC)

『多文化共生』。外国人女性へのハラスメント、国際結婚したカップルの離婚による親権問題、職業問題等、日本で暮らす外国人女性が抱える問題についてお話しいただいた本多さん。アジアから来日する外国人が増加するとともに、こうした深刻な悩みを抱える外国人女性も増加しました。AWCは、



そんな方々の相談にのり、一緒に問題解決に取り組む活動をしています。現在は、英語、中国語、韓国語、タガログ語、タイ語、インドネシア語と日本語の7か国語で対応しています。

『インバウンド』という言葉をよく耳にしますが、本来のインバウンド事業は、日本へ足を向けてくれる方々の受容体制を整えていく事＝『多文化共生』を実現するものなのではないかと感じました。国際交流から多文化共生へ。アジアリーダー都市を標榜する福岡市ですが、まだ多文化共生を専門に取り組む部署はないそうです。

“持続可能な開発目標（SDGs）推進本部”

5月26日、27日に開催されたG7伊勢志摩サミットの首脳宣言において、SDGsへの取り組みを進めることを決意しています。（首脳宣言 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000160267.pdf> 28から30ページに書かれています。）

これに先立ち、5月20日、SDGs推進本部が開催されました。G7各国に対し、日本は政府を挙げてちゃんとやっているよ、と示す必要があったからです。日本がすでに決定した事業は3つあります。1つ目は、途上国の女性の活躍です。3年間で5千人の女性行政官等の育成と5万人の女子の学習環境の改善に取り組みます。2つ目は、国際保健についてです。公衆衛生危機対応、感染症対策、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のため、グローバルファンド、WTO、世銀のパンデミック緊急ファシリティ等に対して、今後新たに約11億ドルの支援を行う方針です。3つ目は、中東関係です。本年からの3年間で、約2万人の人材育成を含む約60億ドルの支援を行います。同時に、シリアの若者に日本への留学機会を増やし、また、難民支援の現場にJICA専門家等を派遣します。

しかし、少し残念なのは、SDGsでは先進国も国内の持続可能な開発を進めることになっていますが、日本国内の取り組みは明らかになっていません。



編集後記：お天気も政界も大荒れな中、やっと4号発行です。いろんな問題についていけるようもっと勉強しなきゃと思いました。（内田）

【発行者】
特定非営利活動法人イマジン
福岡市早良区祖原 14-20
Tel 070-5818-6150
Email info@imagine.or.jp



サステナブルシティ福岡キャンペーン
<http://sustainablecityfukuoka.jp>

For You and For Me

第4号 2016年7月

ご挨拶

第4号の発行が1か月遅れました。申し訳ありません。

さて、インタビューさせていただいた団体が10を越えました。いろいろな方のお話を伺うと、様々な課題が次々に明らかになってきます。しかし、すべての課題は「持続可能性」が共通している問題です。経済においては「成長産業」ではなく、「持続可能な産業への変革」により成長することができると改めて感じています。

特定非営利活動法人イマジン 理事長 渡辺久也



特集：「推進本部」ができたげな！

“推進本部？” “本部ってことはなんかすごい？”
そうです。総理大臣を中心にすべての大臣がメンバーの会議です。国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、日本政府がみんなで協力して頑張ろうっていう体制を整えたというわけです。5月20日に第1回の会合が開催されて、SDGsの達成のための日本政府の指針を作ることが決定されました。安倍総理は、日本がSDGsの取組において世界をリードすると発言したそうです。福岡が日本をリードできるよう頑張りましょう。詳しくは裏表紙に！

【イベント情報】 7月31日 13:30~16:00、「生きものと私たちのくらしトーク・カフェ第1回~いろんな生きものがおる！博多湾~」、場所はアミカス（高宮）。小学校高学年以上対象、参加費無料。主催は福岡市環境局、詳しくはグリーンシティ福岡（電話 092-215-3913）へ。